

# 共感で勝つ



**グローバル人材動向 | アジア** ほとんどの従業員 (64%) は、自身の所属組織が意思決定を行う際、効果的に経済と共感のバランスが取れていないと考えています。先進企業では、社員の意見を熱心に傾聴し、社員の意識を明るい未来に向けることで社員を気にかけているという態度を示します。

## 将来に焦点を当てる

従業員が現在から将来に亘り活力を持てるよう、協力し合う



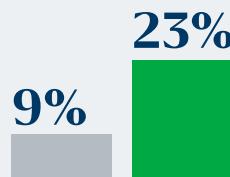
**80%**  
の経営幹部は、組織の目標は株主第一主義を超えて進展すべきだと認識している

もっとも、これを実現している組織わずか  
**36%** にすぎない

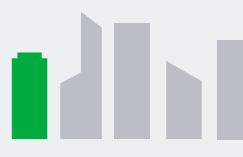
**70%**  
の社員は、今年、燃え尽きるリスクを感じている

## 科学で感じ取る

人間の洞察力でAIを活用することで、先を見通す



予測分析の使用頻度が上昇  
(2016年の9%から現在では23%に)



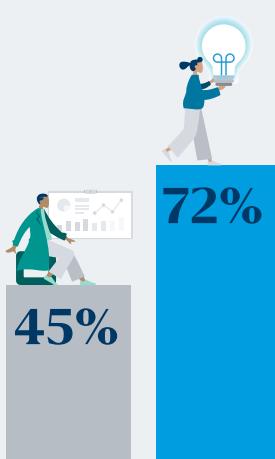
buy,build,borrowの意思決定にデータ分析を活用している企業はわずか  
**18%**



退社リスクのある社員の特定にデータ分析を使用している企業は、わずか  
**31%**

## 再教育に全力で取り組む

新しい事業環境に向けて、再教育で従業員を変革する



HRリーダーにとって、変革における**2番目の**課題は、従業員の能力

経営幹部は、新しい労働環境に適応できるのは、45%にすぎないと考えている

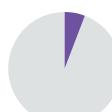
**45%**

**72%**

一方で、従業員の72%は、新しいスキルを学ぶ心構えができると言っている

## 経験を豊かにする

社員の職場体験を再デザインし、社員に刺激と活力を与える



現在、模範的な社員体験を提供していると考えるHRは、わずか  
**6%**



ただし、企業の**63%**が、社員中心の度合いを高めるために組織の再設計を実施している

活力のある社員は**5倍** 職場が健全である、また4倍職場がインクリューシブで信頼がある、と回答する割合が高い



マーサー全球人材動向調査の全文ダウンロード先：  
[www.mercer.com/global-talent-trends](http://www.mercer.com/global-talent-trends)

企業が共感で勝つ方法について、関心をお持ちですか？  
マーサーにご相談ください。

welcome to brighter